

こもれび

社会福祉法人 明和会 障害者支援施設 陽だまりの里 編集・発行責任者 井上 明秀
〒834-0015 福岡県八女市本2575-1 TEL 0943-30-3055 FAX 0943-23-0750
ホームページ: <http://www5.ocn.ne.jp/~meiwakai/> メールアドレス: hidamarinosato@sunny.ocn.ne.jp



写真「九州福祉施設交歓野球大会 in 沖縄」

目次

- P1・・・表紙
- P2・・・機能強化事業説明
- P2・・・エリア写真
(Before/After)
- P7・・・陽だまりキッズ紹介
- P8・・・行事報告
(平成25年8月~10月)
- P10・・・出張・研修報告
- P11・・・職員クラブ紹介
- P12・・・職員紹介・編集後記

野球部マネージャー
中野 愛美

10月12・13日沖縄県恩納村に於いて第8回九州福祉施設交歓野球大会が開催され、陽だまりの里野球部も参戦してきました。

前日に勤務を終えて、沖縄へ飛び立ち居酒屋でオリオンビールで明日の健闘を祈り乾杯！

初日の野球大会ではホームラン(4本)も飛び出す熱戦を繰り広げ、初の決勝進出を果たすことが出来ました。熊本の愛隣館さんとの決勝戦前は皆緊張感に包まれていましたが、試合が始まるといつも通りの全力プレーで頑張りました。結果は準優勝でしたが、選手熱いプレーはとても素敵でした。

2日目は、美ら海水族館や首里城へ行き沖縄を満喫してきました。2泊3日の旅に快く送っていただいた利用者さんと職員の皆さんに深く感謝します。

今年は準優勝でしたが、来年は優勝カップを手に戻ってきたいです！

応援ありがとうございました。

職員紹介

支援推進部 生活支援課
在宅支援医務 大塚 悠香(看護師)



本年度6月より在宅医務に勤務しています。

高校卒業後、関西の方で生活していましたが、14年ぶりに八女に戻ってきました。子供が3人いますが、すっかり八女弁になつてきています。

陽だまりの里の沢山の利用者との関わりを通じ、沢山のパワーをいただいています。

これからも沢山の皆様をいたさながら1日1日を大切に、皆様と一緒に楽しい時間を過ごしていけたらと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



在宅支援部 モア陽だまりの里
塩塚 由紀(生活支援員)



配属されて、はや2カ月が経とうとしています。茶畑の上を歩いて来る風が心地良いモアルームで個性豊かな利用者の方々と、職員の先輩方に支えていただき楽しい毎日を送っています。

福祉に携わるのは初めてで学ぶ事が多く新発見の毎日です。利用者の笑顔に助けられる日々ですが、私が誰かを支え頼りにされる人間に成長したいと思っています。「後向きではなく前向きに、前向きに」をモットーに笑顔で頑張ります。よろしくお願ひいたしました。

在宅支援部 陽だまり工房
澤田 綾乃(職業指導員)



就労支援を受けるために陽だまり工房に来て約3年。社会経験が乏しく、最初は挨拶すらほとんどできない状態でも不安でした。しかし周りの職員さんに粘り強く支援をしていただき、少しずつ自信が湧いてきました。

今年の6月、陽だまり工房に就職が決まり不安でしたが、「やってみよう！」と思えたのも色々な方々の支援のおかげだと思っています。仕事はパンの焼成をすることができますが、早くできる事を増やせるようがんばりたいです。

在宅支援部 陽だまりホーム
梅野 政子(世話人)



6月からお世話になってます。立花町在住で月2回のカラオケ教室でストレス解消をしています。

最初の内は、「私で良いのだろうか」と不安な時もありましたが利用者皆様の笑顔に元気をもらいました。職員の方々に助けて頂きながら周りの事も少しずつですが解って来たように思います。

これも皆様のおかげだと感謝しております。今後は、もっと利用者の皆様の思いを理解し、皆様が楽しいケアホーム生活になるよう、努力したいと思っていますので、未熟な私ですがよろしくお願いします。

編集後記

早いもので、平成25年も残すところ2カ月となりました。

今年を振り返ると、とても嬉しかったニュースでは、「2020年東京オリンピック決定」だと思います。決定

までの過程で、アルゼンチン・ブエノスアイレスで開催されたIOC総会にてプレゼンテーションした滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」の言葉は皆さんの心に残ったと思います。「鯖の味噌煮」を食べた時のように日本人で良かったなと思う瞬間で

した。

28号については、主にハード面(設備)について紹介しました。まだ完成していませんが、完成後には皆様に来て頂きたいと思っています。陽だまりの里の「おもてなし」で迎えたいと思っています。

k・s

機能強化事業

本法人は、法人設立から今日まで「小規模でも多機能な地域の障害者の様々なニーズに応える施設づくり」を合言葉にさまざまなチャレンジを行ってきました。その様な中、昨年より利用者満足と、職員の介護負担軽減を図るために施設機能の強化を進めています。まだ全ての完成はしていませんが、途中経過を報告します。

機能強化事業第I期事業

平成24年7月～12月までの工期で、東側浴室の拡張工事を中心とした改修工事を行いました。入浴設備も、専用の車いすに座ったまま入浴できるチェアインバスや、既存のストレッチャーに寝たまま入浴できる機器をリニューアルしました。

また、物品庫の移設を行い、ピュア陽だまりの里の事務所を移動。相談室の移設も行い、明るくて広くなりました。訓練ルーム(マットレスを敷いて横になれる空間)は畳からクッションフロアへ変更しました。

機能強化事業第II期事業

平成25年4月～7月までの工期で、中央浴室の脱衣所・浴室のリフォームを行いました。脱衣所の床の張替え、入口の増設、大浴槽の撤去を行い、将来的にはチェアインバスの設置を考えています。

また、陽だまりホールを分割し、モア陽だまりの里と陽だまり工房の活動スペースを整備しました。

機能強化事業第III期事業

平成25年10月から平成26年5月末の完成予定で現在進行しています。ピュア陽だまりの里の増築、スノーズレンルームの新設、新たに障害児サービス専用スペースの整備を進めています。完成後は地域で暮らす障害者支援の多様化したニーズにお応えできると思っています。工事期間中は利用者及び関係者の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。



職員クラブ紹介

野球部

キャプテン 松崎 直也

みなさんこんにちは、野球部です。野球部は月2回程、近隣の球場で練習を行っています。皆仲が良く、いつも楽しく練習しています。八女市の大会や、毎年開催される九州福祉施設交歓野球大会等に参戦しています。表紙でも紹介させて頂きましたが先日初の沖縄遠征へ行ってきました。結果は準優勝でしたが、他施設との交流会や夜のビーチ、沖縄の青い空に青い海...とても楽しくいっぱい思い出ができた3日間でした。

第8回 九州福祉施設交歓野球大会

恩納村立赤間運動公園野球場 (ONNA赤間ホール・パーク)

第一試合

陽だまりの里 9対2 長光園(佐賀県)

準決勝

陽だまりの里 5対0 千歳療護園(福岡県)

決勝

陽だまりの里 2対7 愛隣館(熊本県)



BEFORE

ピュア 陽だまりの里

AFTER

たたみから、やわらかクッションフロアへ替えて衛生的で安全なフロアに変わりました。
by: 職員

マラソン部

キャプテン 中島 信哉

今年の4月に承認を頂き正式にマラソン部として活動することになりました。そもそもマラソン部は、業務終了後ダイエツトを目的に職員数名が施設近くを走るようになったことがスタートでした。それからさまざまな大会へ参加し、女性部員は10キロを完走、男性部員はハーフマラソンを完走するまでになりました。正直走っている最中は苦しく、「もう走りたくない」と心の中で思いますが、完走した喜びはそれ以上でまた走りたくなります。



参加一覧

- ヤフオクドームリレーマラソン
- 下関海響マラソン
- 天草マラソン
- 吉野ヶ里リレーマラソン
- 八女市駅伝大会
- 茶のくに・やめ マラソン大会
- 熊本城マラソン
- 大川 木の香マラソン大会
- 筑後川くるめ菜の花マラソン
- さが桜マラソン

バレー部

キャプテン 山浦 公輔

陽だまりの里バレー部は創部10年になります。年2回行われている八女市の大会には毎回出場しており、創部当初は1セットも取れない状態でしたが、今は(最高で)準優勝までできるようになりました。毎週1~2回の練習を(地域交流を含め、他チームとの合同練習)頑張っています。

ヤル気がある職員の方、ぜひ入部をしてみませんか?今年こそは悲願の優勝を狙いたいと思いますので、一緒に練習しましょう!何事も始めるのに遅い事はありません!「仕事で疲れたから練習したくない」「帰って晩酌するから」なんて言わず、スポーツで爽やかな汗をかきましょう。そうしたらあなたの人生も薔薇色に輝くかも...さあ、レッツ健康!



クローゼット式の収納庫を新設して、整理整頓ができるようになりました。
by: 職員



BEFORE



東側浴室《主に在宅利用者》

AFTER

JKAの補助事業により、ハッチ式入浴機器を新設しました。
by: 職員

新しい浴槽が入り、肩までゆっくり温まる事ができるようになりました。

清水基金助成事業により、ストレッチャー式入浴機器の新設を行いました。ストレッチャーの高さが電動で動くので、介護負担軽減になっています。
by: 職員

浴室の真ん中が仕切れるようになりました。男性と女性と分けて使用できるようになりました。
by: 職員



BEFORE



中央浴室《主に入所利用者》

AFTER

扇風機が設置され夏場は湯あがり快適です。
by: 利用者

昇降式の処置台(ベッド)が設置され、着脱や移乗の際に職員の負担が軽減され皆喜んでます。
by: 職員

脱衣所と浴槽の動線にゆとりができ利用者の安心安全に繋がっています。
by: 職員



出張・研修報告

第37回

全国身体障害者施設協議会 研究大会

日時：平成25年7月4日～5日
出張先：鹿児島県 城山観光ホテル
参加者：井上施設長、日野在宅支援部長、大竹(光)課長、山村マネージャー、西田リーダー、樋口生活支援員

●一日目
①開会式、永年勤続者表彰
②行政説明
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長 辺見 聡氏

③基調報告
全国身体障害者施設協議会 会長 日野 博愛氏

④特別講義
特別委員会 委員長 眞下 宋司氏

⑤記念講演

小児科医 熊谷 晋一郎氏
⑥次期開催地挨拶
東京都身体障害者施設協議会 会長 平井 寛氏

●二日目

①実践報告
②ポスター発表
③研究発表

「利用者と地域(住民)等が交流できる場所を開設して見えた地域移行への近道」
岩手県 四季の郷
「外国人介護職員雇用の取り組みと課題」
三重県 小山田苑

在宅支援部 在宅支援第2課
リーダー 西田 久美

「研修報告」

今回の出張では、沢山の勉強をさせていただいた。一日目は、『小児科医(東京大学先端科学技術研究センター 特任講師)熊谷晋一郎先生』の記念講演が行われた。『手足論と自己決定論のねじれ』という内容だった。介助者は、障害者の手足となることとされているが、その間にある矛盾を考えさせられた。

(Aさんの例)
Aさんは自閉症を抱えてあり、過剰な自己決定の不自由があるということだった。自閉症の特徴として習慣を得ることが難しいということであった。

行動選択肢の乱立では、声を出す事は自動化(身体化)するのだが、Aさんはそうではなく、「どの音量で・低い声か高い声か・早口かゆっくり話すか」等、沢山自己決定しなければならぬということだった。考えるだけでも疲れるが、今度は内容も考えなければならぬ。しかし、Aさんにとっては手話の運動調整は自動化しやすいようスムーズに伝えることができるという。自閉症についてより知識が深まり、大変勉強になった。

次に、自立VS依存について。実は、

「自立」とは、依存先が分散している(あれがだめならこれがある)ということだった。例として、建物から逃げる際は「階段」「エレベーター」「ロープ」等、沢山の物の依存があつてこそ「逃げる」という行動ができるということ。つまり、自立をしていると思つていても、実はたくさんさんの便利な道具や人に支えられ「依存」して暮らしているという事を勉強した。逆に考えると、障害者の方や小さい頃に虐待で人間不信になられた方は依存する物が少なく、その物に集中するため、「お酒・薬物」に依存してしまうという事を勉強し、考え方が一変した。



(写真はスノーブレンの一例です)

二日目では、実践報告が行われた。今回は7会場それぞれ別の報告があり、自分の興味のある実践報告のみに参加するというパターンであった。その中でも、「岐阜県 あいそら羽島」の『摂食・嚥下機能』の報告が大変興味深いものとなった。

『あいそら羽島』は、専門歯科医による研修会の実施を行われていた。職員で実験されており、胃カメラを鼻から挿入し、呑み込み方を見られるようにしていた。呑み込む際、誤嚥するに

はどの器官を通っているのか。通常の呑み込みはどのようにして行われているのかも動画で私たちは見る事ができた。

その後、ポスター発表が行われた。ここではたくさんさんのポスターが掲示されており、それぞれ見ていく事が可能だった。その中でも『スノーブレンの効果について』という三重県の『聖マツテヤ心豊苑』が掲示されているものがとても興味深かった。内容は、スノーブレンで使用している『ポールプール』というもので、柔らかい一つひとつのポールがストレスを軽減してくれるというものだった。実際、緊張や痙攣をしている障害者とお母様が一緒にポールプールに入るとリラックスされ、一時すると欠伸が出る程緊張も和らいでいるという事例があった。陽だまりの里でもピュアルームに建設予定ということで、大変勉強になった。





長期休暇中や土曜日・日曜日にレクリエーションを行なっています。今日は、お菓子作りをしました。今、職員やバイトさんと一緒に材料を混ぜている所です。みんなで作ったお菓子は、格別美味しくできました！

日中一時支援

課長 大竹 直美



毎年行われる日帰り旅行が今年も10月に行われました。今年はやフオクドームに野球観戦、福岡タワー見学、鹿北のゆーかむでゆったり温泉と盛りだくさんで、行き先は利用者さんの希望に沿って計画しました。どの利用者さんも充分満足された様子で、沢山の笑顔と職員への労いのお言葉をいただき、利用者さん職員共々、大満足できた旅行になりました。

モア 陽だまりの里

サービスマネージャー

藤井 努



また、黒木町のリサイクルセンターより、資源の分別作業11月から開始しました。皆さんや方々を代行錯誤しながら取り組んでいます。

工房では利用者さんが交代で店舗に行き、お店を切り盛りしています。店舗ではお客様との関わりやレジを打ったり等、それぞれの個性を生かした笑顔での対応を心掛けています。その他、移動販売でも地域のお客様との交流を大事にし、就労意識を高める経験を積んでいます。どうぞ、美味しいパンとみんなの笑顔に出会いに店舗へお越し下さい。

陽だまり工房
マネージャー 姫野 初美



10月に筑後広域公園にピクニックに行きました♪
途中でお弁当屋さんへ寄り、オードブルやジュースを買っていき筑後広域公園へ！現地に着くと綺麗な芝生の上にテントとテーブルを準備し、お待ちかねの昼食タイム！
「外で食べるご飯は美味しいな〜」「お腹いっぱい」等の声がたくさん聞かれました。
暑い中での外出でしたが、利用者さんの笑顔が多く見られ有意義な外出になりました。

陽だまりホーム

マネージャー 本廣 直紀



職員玄関



廊下の温度が一定に保たれるようになりました。 by 職員



洗濯室



テーブルがついたことにより洗濯の仕事がやりやすくなりました。 by 利用者



陽だまりホール《トイレ》



陽だまりホールのトイレは、便器2台と小便器2台あります。様々な利用者を使用して頂けるように、個室への扉はカーテンでした。ですが、プライバシーの観点から引き戸に変更しました。



陽だまりホール《パーテーション》



BEFORE

モア 陽だまりの里

AFTER



陽だまりホールは、吹き抜けの広いフロアでした。モア陽だまりの里の活動場所、過去には、5周年&増築記念パーティーやステージを活用した催し物を行ってきました。

今回の工事で、フロアの中央に重さ約3トンの鉄骨の梁を通してパーテーションで分割できる様にしました。

工事後は、モア陽だまりの里と陽だまり工房の活動場所として独立した2つのフロアとして使えるようになりました。パーテーションをあければ前の様な広い空間で行事等に使うこともできます。



個人用のBOXができ「自己管理」という自立支援に役立っています。
by 職員

パーテーションをあけているところです。外部講師による「職場のコミュニケーション」研修を行っています。9月職員会議 第2部



今年で3回目の熊本市動植物園に、日帰り旅行で行って来ました。毎年動物の表情等新しい発見があり、利用者(右から横田さん、堤さん、平木さん、鬼塚さん)職員共に大満足しています。たくさん動物に触れ合うことができ楽しい日帰り旅行になりました。

障害者支援施設 陽だまりの里
サービスマネージャー 高山 友彰



日帰り旅行で、キリンビール工場に行ってきました。道中、思い出話や世間話で盛り上がりとても楽しいひと時でした。工場に着き車から降りると一面にコスモスが広がっており、それをバックに分厚いステーキをお腹いっぱい食べて帰ってきました。(右から森光さん、山本さん、服部さん)

日帰り旅行で、実施しました。

行事報告(平成25年8月~10月)

ピュア 陽だまりの里

サービスマネージャー 姫野 里美

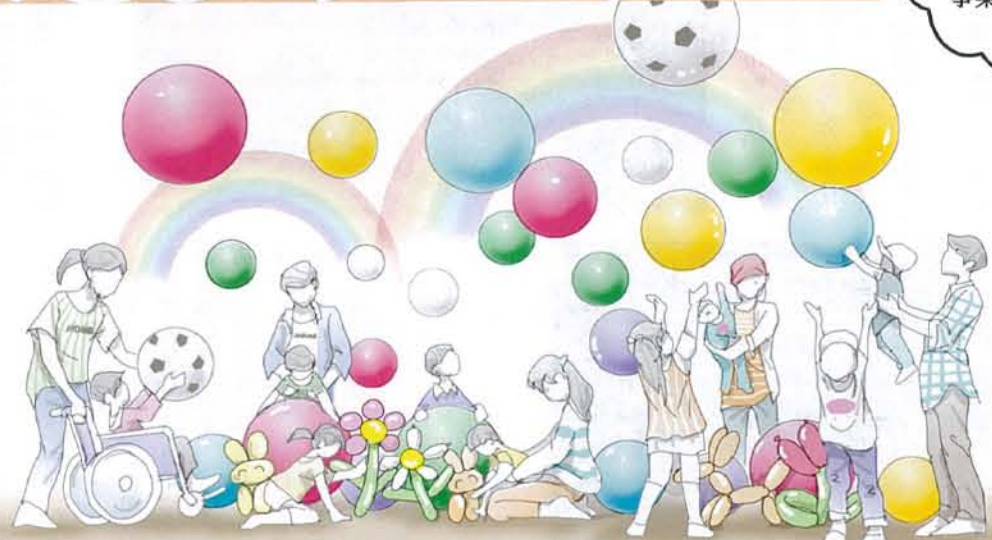
今年の日帰り旅行を実施しました。今年の目的地は佐賀県、話題の武雄市図書館と、ゆめぎんが(宇宙科学館)に分かれた旅行でした。少し遠かったですが、充実した旅行になったと思います。目的地だけでなく、高速道路で追い越して行くトラックやバスを嬉しそうに見たり、サービスエリアでお土産を選んだり、普段なかなかできない事を体験できました。



放課後等デイサービス・児童発達支援

陽だまりキッズ

平成26年6月
事業開始予定



陽だまりの里の開設から12年目を迎え、これまで培ってきた経験と技術をもとに、このたび放課後等デイサービス、児童発達支援のサービス提供を開始いたします。

子どもたちの「優しい笑顔」と「明るい笑い声」が集う、癒しとワクワクの空間を目指します。音楽療法やリハビリ訓練、情緒安定を図るスヌーズレン、看護師による医療サービスなど、子どもたちの成長の一助となるようなサービスメニューも準備中です。

『陽だまりキッズ』は地域のみなさまに愛される施設づくりを進めていきます。今後のご支援とご協力をお願いいたします。

事業の概要 定員10名

●放課後等デイサービス

＜＜対象者＞＞

学校（幼稚園および大学を除く）に就学しているお子様で、授業の終了後または休業日に支援が必要と認められる方が対象です。

＜＜営業時間＞＞

平日：15：00～18：00

土・日・祝日・長期休暇：10：00～16：00

●児童発達支援事業

＜＜対象者＞＞

療育の観点から集団療育および個別療育を行う必要があると認められた未就学のお子様を対象です。

＜＜営業時間＞＞

10：00～16：00



完成予想図

お気軽にお問合せください！

陽だまり工房

BEFORE



AFTER



朝礼・終礼の場所が広がって 仕切りができて皆の音がよく聞こえるようになりました。 by：利用者



手が洗える場所がふえてよかったです。 by 利用者



天井埋め込みの加湿器が整備され、鼻やのどの乾燥が軽減されました。 by：職員



工房から玄関が近くなったので移動しやすくなりました。 by 利用者